部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電話	483-1151 内線3561

1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)

コード	32	67	事務事業名称	農業農村	振り	興事業	短縮:	コード	経常	3267	臨時	3268				
予算区分	会計	01	一般会計	蒜	欠	06 農林水	産業費	項	01	農業費	目 06 農地費					
区分			□ 法定受託事務			根拠法令等				改良法、八千代市補助金等3 支払交付金実施要綱	交付規	則、八	千代市	土地改良	事業等	補助
	□ その他															

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

- ・昭和42年度より、農業生産基盤の整備を推進し、農業生産性の向上を図っている。
- ・研修等を通じ、担当職員の農業農村整備に関する知識の向上を図り、そこで得た知識を農業生産機能の安定に役立てる。
- ・平成19年度から新たに「農地・水・環境保全向上対策」が導入され、平成23年度に「農地・水保全管理支払交付金」に改正され、地域ぐるみで集落機能の維持及び農地、農業用水等の資源の保全と質的向上を図る。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 6本の柱(章) 06 第6章産業活力都市をめざして 農家の担い手不足や高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下はあ 大項目(節) 第1節農業 01 らゆる地域で問題となっている。 総 01 1. 農業 合 中項目 計 画 の 01 (1)農業生産基盤の整備と利活用 施 小 項 目 策 体 01 ①優良農地の保全と効率的な利用 系 細 項 目 実施計画の 計画事業 計画事業の位置付けの有無 計画事業期間 計画事業費 千円

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

意図)

対象 (誰を何を対象にし ているのか)	農政課担当職員,県,印旛郡市土地改良協会,千葉県土地改良事業団体連合会,八千代市土地改良事業推進協議会,印旛沼地区農業農村整備推進協議会,千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会,土地改良区等。
手段 (具体的な事務事業	※平成23年度に実際に行ったこと: ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付した。 ・千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会が、農地や農業用水等の資源保全、質の向上を図る対策に取り組む団体に対し交付金を交付する事業 に、市も交付金の1/4の額を同協議会に負担金として支出した。また、担当者職員研修を受けた知識で、この対策に取り組む団体及び新規活動 希望の地区に対して指導や助言・説明会等を行った。
のやり方、手順、詳 細)	※平成24年度に計画していること: ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付する。 ・千葉県農地・水保全管理協議会が、農地や農業用水等の資源保全、質の向上を図る対策に取り組む団体に対し交付金を交付する事業に、市も交付金の1/4の額を同協議会に負担金として支出する。また、担当者職員研修を受け、この対策に取り組む団体に対して指導や助言を行う。 ・担当者会議への参加
意図 (何を狙っているの か)	・土地改良施設を維持管理することにより、農業生産性の安定を図る ・農業生産にとって最も基礎的な資源である農地、農業用水等を地域ぐるみでの効率の高い共同活動により、保全管理し質の向上を図っていく。 ・担当職員の農業農村整備に関する知識の向上及び情報収集等
ねらい(上位施策の	入力対象外

豆八		L	224.11	2 2 年度	235	2 4 年度	
区分			単位	実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	負担金支出先	団体	6	6	6	6
	指標 2	土地改良区等	団体	9	9	9	9
	指標3	担当職員	人	2	3	2	3
	指標 1	負担金支出額	円	2, 683, 731	2, 709, 000	3, 051, 790	1, 877, 000
活動指標	指標 2	補助金交付額	円	1, 479, 000	1, 634, 000	1, 396, 000	2, 857, 000
	指標3	担当者会議への参加回数	回	10	10	18	10
	指標 1	補助金交付団体数	団体	9	9	9	9
成果指標	指標 2	農業農村整備に関する知識が向上したと考える職員	%	100	100	100	100
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 3267	事務事業	美名称	農業農村振興事業		所属名 農政課		
単位				2 2 年度	2 3	2 4 年度		
羊位				実績	計画	実績	計画	
		国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	55	45	40	20	
	財源内訳	地方債	千円	0	0	0	0	
_		一般財源 千		4, 461	4, 631	4, 737	5, 032	
事業		その他	千円	0	0	0	0	
費 (A)	費			使用料及び賃借料 267千円 負担金 2,683千円 補助金 1,479千円	使用料及び賃借料 268千円 負担金 2,709千円 補助金 1,634千円	使用料及び賃借料 268千円 負担金 3,052千円 補助金 1,396千円	使用料及び賃借料 268千円 負担金 1,877千円 補助金 2,857千円	
人件費(B) 千1		千円	10, 952. 3	10, 053. 1	10, 439. 2	8, 729. 8		
١ -	- タルコスト	(A) + (B)	千円	15, 468. 3	14, 729. 1	15, 216. 2	13, 781. 8	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	「農業農村振興事業」は上位の施策「農業生産基盤の整備と利活用」のために推進しており、 結びついている。						
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	・農業生産基盤を支える土地改良施設の老朽問題は維持管理が必要になっている。 ・農村地域では高齢化、混住化が進行しており、農地や農業用水等を守るための機能が低下しており、その適切な保全管理が必要になっている。						
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない	・担当職員の農業農村整備に関する知識等は,常に向上させていなければならない。 - ・						
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項							
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	負担金、補助金や職員の知識向上に関する事業であるため。						
	※民営化・・・事務事業の全部又は一 部の実施主体を全面的に民間事業者等 に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項							
		☑ 現状のままでよい	現状の対象と意図で、生産基盤の安定という結果に結びつく。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		□ 評価対象外事項							
		□ 有効性向上の可能性がある	農業生産の基礎となる土地改良施設,農地,農業用水等の維持及び,職員の知識向上のための 事業であることから,有効性や効率性の向上は難しい。						
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある							
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある							
	入する。 	☑ 可能性がない							
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等							
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等 の活用							
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し							
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 実施主体 (所管部署)						
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 2						
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある							
	民の理解等)	口ない							

	- ド 3267 事務事業	名称	農業農	· 長村振興事	下 業					所属名	農政課	
⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。 今後の方向					zスの改革・i D拡大・縮小 削見直し			地域におん	向上を図るために、地域ぐるみで効果の高 く。			
性	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。			向 上 不 変	削減	経不]	増加	齢化、後継者不足等によ	朽化が進むことや集落機能の低下、農業従事者の高り、行政機関が積極的に農地や農業用水等の保全を改修費用等の補助金の増加が見込まれる。		
				低下								
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 米価や農産物価格の低迷、農業従事者の高齢化など、農業の経営環境が大変厳しいことから、補助の充実を求める意見が寄せられている。											
所属長コメント	属 長 コ メ メ											
評価調整委員会評価	□ 改革改善して継続□ 手法プロセスの改革・改善□ 事業規模の拡大・縮小□ 統合・役割見直し□ その他□ 廃止・休止□ 事業完了☑ 現状のまま継続	担当	当課の記	平価のとま	39,現状の	のまま総	迷続と	する。				